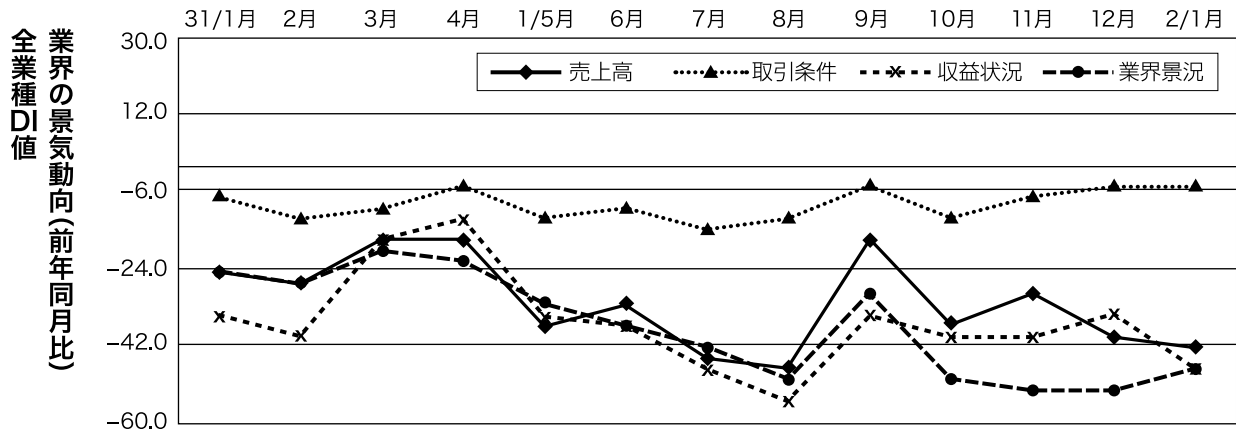




業界の今

情報連絡員報告より
1月の業界の動き

◆ 令和2年1月度 情報連絡員報告 ◆



	31/1月	2月	3月	4月	1/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	増減
売上高	-25.0	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	-40.0	-42.5	-2.5
取引条件	-7.5	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	-5.0	-5.0	0.0
収益状況	-35.0	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	-35.0	-47.5	-12.5
業界景況	-25.0	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-52.5	-47.5	5.0

概要 令和2年1月の前年同月比DI値の推移は前月に比べ、「業界景況」は5.0ポイント上昇したが、「取引条件」は変わらず、「収益状況」は-12.5ポイント、「売上高」は-2.5ポイント悪化した。

要 1月は、稼働日数の少なかった業種もあり、売上高が減少した事業者も多かった。暖冬の影響が各業界に出ており、また新型コロナウイルスの影響についての報告も出始めており、中小企業の先行きは依然として不透明で、今後の状況を注視していく必要がある。

暖冬の影響で食品、海産物向けの段ボールケースの需要が少ない状況である。(紙器段ボール)

	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	繊維工業	テントシート	暖冬という事もあり、例年この時期に注文の増える商品の受注が少ないし、その他のものについても同様である。
	木材・木製品	木材	消費税増税以降も引き続き需要の低迷が続いている。
	紙紙加工品	紙器段ボール	暖冬の影響で食品、海産物向けの段ボールケースの需要が少ない状況である。インフルエンザの流行、新型肺炎の影響で医療向け(消毒液、アルコール類など)の段ボールケースの出荷が増えている。
非製造業	小売業	青果	野菜は、年始の荷動きが悪く、全国的な暖冬の影響で収穫量が多く供給過多による安値、特にキャベツ、大根、白菜等は例年よりかなり安い。椎茸、白菜、しめじ、水菜等鍋物用も安い。安値が続く白菜、白ネギ、しめじ等の鍋物の需要が伸びず、市場関係者も産地も大変苦しんでいる。玉ねぎ、じゃがいも、長芋は安定した価格である。果物は、みかんの入荷が少なく高値。青森産りんごの出荷がピークで、いちごは最盛期だが、価格は高値が続いており、いちご、みかん、りんごが例年より1~2割程高値。伊予柑、ポンカン、せとか等の柑橘類も増えている。伊予柑は少し安くなってきている。
	サービス業	旅館	年始は天候にも恵まれ、どこも好調に集客されていたようであるが、中旬以降は中華圏の春節休みを利用したインバウンドのお客様が押し寄せる時であるが、県内どこもインバウンドのお客様の予約が少なく、ここで集客しないとインバウンド先進県にますます遅れをとる事になるため、官民あげて誘客活動に取り組む必要がある。新型コロナウイルスによるキャンセルは、県下全体では施設により差はあるが、他県に比べて少ないようである。
	運輸業	トラック	輸送需要の減少から稼働日数が短かったため、減収となった事業者が多かった。